

顧問 中田 章道 七段

発行責任者 山中 利夫

1 第27回愛知県支部連合会総会を開催

愛知県支部連合会は令和3年1月31日(日)に、支部長、指導員等40名の参加を得て、第27回愛知県支部連合会総会を開催いたしました。平成7年2月に初めての総会を開催して以来、27回目となりました。

従来は支部対抗戦等の実施日に合わせて、また懇親を深める意味合いもあって、支部対抗戦等開催の夕方に懇親会を兼ねて実施してまいりました。今回は新型コロナウイルス感染状況を考慮し、総会の開催のみということで、名古屋市栄の愛旅連ビル会議室にて午後3時から午後4時まで開催いたしました。開催にあたっては、参加者の検温の実施、手の消毒等の徹底など感染防止対策を実施いたしました。



総会では、「2020年の活動のまとめ及び2021年の課題」、「2020年度会計報告及び2021年度予算」、「役員体制について(2021年2月～2023年2月)」を主な議題といたしました。

また、中山則男日本将棋連盟東海普及連合会事務局長から来賓あいさつをいただきました。

議題についてはそれぞれ説明の後、質疑応答を経て、参加者の皆様のご承認をいただきました。

なお、役員体制については、2年に一度の改選時期にあたりましたので、今回提案したものであり、新たに、会長(小林壮行:愛知県庁支部)、副会長(飯沼重友:名古屋支部)、副会長(加太義隆:尾張一宮支部)、幹事長(福島隆夫:名古屋市役所支部)、会計(梅村徹:三菱UFJ支部)、会計監査(矢崎勇夫:名古屋支部)、幹事(高津章:愛知県庁支部)、幹事(才田大祐:尾張一宮如春庵支部)が就任いたしました。

山中利夫会長は相談役、荒木俊夫副会長及び竹河伊知郎副会長は理事に就任いたしました。

今回は現役世代の役員への就任等かなりの異動となりましたが、引き続き将棋の普及推進を図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

なお、質疑応答では、「感染対策の取組について」、「東海研修会が連盟直営になったことについて」、「オンライン対局について」の質問が出され、それぞれの状況について回答をいたしました。

改めての状況説明になりますが、将棋の普及発展の根本的取組は、平成23年4月に公益社団法人として体制を整えた「公益社団法人日本将棋連盟」(以下「本連盟」と記載します。)が担っています。

そして、各地域での普及活動の基礎となるのが、支部であり、本連盟として支部組織の拡充・支援に努めています。また、支部は、本連盟及び当該地域の支部連合会と協力して普及活動を行うこととされています。

愛知県支部連合会は、愛知県内の支部と連携しつつ、本連盟と緊密な連絡を保ち、支部の普及活動及び将棋指導員の普及活動の下支えの役割を担っています。

また、東海地域に在住する棋士を中心とする日本将棋連盟東海普及連合会（会長：大村和久九段、事務局長：中山則男六段）の指導・連携のもと、岐阜県及び三重県の支部連合会とも連携協力して東海地域の将棋の普及発展に取り組んでいます。

現在、38支部約1200名の支部会員、167名の将棋普及指導員を擁する愛知県支部連合会ですが、平成7年の時点では、13支部約200名の支部会員、数名の指導員という状況でありました。

その後、「愛知県内子供がどこに住んでいても将棋が学べる環境の整備」を目標に掲げ、着実かつ継続的な取組みを通じて、普及活動の展開を進めてきました。現在では、全国でも有数の将棋普及活動の先進県となったところであり、指導員の総数は県レベルで全国一という状況になっております。

支部の状況ですが、昨年は、新たにグルッポふじとう将棋クラブ支部が設立されました。

現在は、新型コロナウイルス感染という厳しい情勢が続いておりますが、感染防止対策を徹底した上で、できる範囲で無理のない取組みを進めていくこととなります。そうした中、いつでも大会等を実施・再開できるような態勢を講じていく必要がありますが、実施内容については新たな生活環境様式という視点を考慮していくこととなります。

引き続き、関係の皆様と連携・協力して、将棋の普及活動に取り組んでまいりますので、愛知県支部連合会の取組にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2 第四回名古屋城こども王位戦313人参加で無事開催

昨年8月上旬予定の第四回名古屋城こども王位戦は、コロナの感染拡大を受けて延期となり、年越しの1月16日(土)にポートメッセなごや3号館にて何とか開催に至りました。

会場も例年の吹上ホールから、ポートメッセなごやになって広いスペースの中で、参加者及び父兄の消毒、検温、マスク着用、対局スペース（1テーブル6人から4人）、指導対局（3面指しから2面指し）など可能な限りのコロナ対策をしてリアル大会を運営しました。

参加棋士は、木村一基九段、北浜健介八段、石川優太四段、中山則男六段、竹内貴浩四段、中澤沙耶女流初段、脇田菜々子女流初段、山口仁子梨女流2級の皆さんで、参加者のために交代で食事をしつつ指導対局をお願いしました。（186名が指導対局）

また、保護者向けの将棋セミナーも木村一基九段がミニ講演をされ、大変好評でした。

一方、今回はコロナ対策のためにオンライン大会も並行して行われています。

2月21日(日)に名古屋城本丸御殿で開催予定の表彰式で各クラスの優勝者同士の対局があり、その勝者は藤井聡太二冠の指導対局を受ける予定です。また、この表彰式には日本将棋連盟の佐藤康光会長の出席も予定されています。

大会を通じて参加者の真剣な対局態度を見ていると一日も早くコロナが終息し、この子どもたちが心置きなく将棋の対局ができる日が一日も早く来ることを願わずにはられません。各クラスの上位入賞者は、以下の通りです。



	優勝	準優勝	第三位	第四位
小1以下 35名	伊藤 千智 (弥富市)	安齋 美緒 (兵庫県尼崎市)	石原 想大 (刈谷市)	中野 凜成 (岡崎市)
小2 48名	藤井 響生 (兵庫県たつの市)	埴 大河 (名古屋市)	信貴 琉生 (大阪府高槻市)	川角 祐生 (小牧市)
小3 63名	石黒 連太郎 (日進市)	佐藤 隼一郎 (一宮市)	華房 永菜 (名古屋市)	坂井 快行 (小牧市)
小4 58名	大西 正顕 (兵庫県神戸市)	伊藤 誇吾 (岐阜県海津市)	長野 帆高 (日進市)	山中 惇史 (安城市)
小5 38名	櫻井 水絵 (静岡県浜松市)	宮間 遥都 (三重県伊勢市)	山川 康介 (三重県鈴鹿市)	奥村 栞吉 (春日井市)
小6 22名	若林 卓実 (名古屋市)	根津 智成 (春日井市)	寺澤 橙吾 (豊明市)	坂野 翠 (大府市)
中1 26名	紀平 倅佑 (岐阜県岐阜市)	古野 知典 (瀬戸市)	鬼頭 直寛 (名古屋市)	新藤 龍 (名古屋市)
中2 19名	今尾 優 (岐阜県笠松町)	生田目 航太 (名古屋市)	梅山 優士 (三重県いなべ市)	山本 悠太 (名古屋市)
中3 5名	宮堂 孔暉 (三重県養老町)	富田 文希 (岐阜県多治見市)	伊藤 知希 (名古屋市)	橋本 輝 (名古屋市)

3 第3回熱田こども将棋大会—熱田神宮文化殿で開催

第3回熱田こども将棋大会が、東海普及連合会の主催で1月9日(土)に熱田神宮文化殿で開催されました。この大会は、熱田区出身で講師の旭堂鱗林さんを代表とする「熱田こども将棋大会実行委員会」からの要請を受けて、また、名古屋市議会の熱田区選出の服部しんのすけ議員の尽力もあって開催することとなったものです。

この大会は、熱田区に将来将棋会館を誘致したいという地元の熱意もあり、賀城園、妙香園、東邦ガス、蓬萊軒など地元18団体の協賛をいただき、また副賞として名古屋鉄道の協力をいただきました。

今回は、新型コロナウイルス感染という状況を踏まえ、定員を各クラス32名以内に絞って、あらかじめ申込をするという形式で実施しました。

参加者数は結果として78名で、昨年の186名を下回った状況になりました。

また、受付では検温、消毒、また、各机には消毒液を配備するとともに、席の間隔を十分に確保する、また指導対局においても指導棋士1名に対して2名に限定して実施するなど感染対策には十分配慮したところです。

参加棋士は、木村一基九段、北浜健介八段、澤田真吾七段、石川優太四段、竹内貴浩四段、中澤沙耶女流初段、脇田菜々子女流初段、山口仁子梨女流2級でした。

大会審判長の中山則男六段の合図で開始され、その後、敗退者から順次指導対局をお願いし、62名のこどもさんが指導を受けました。来年も同会場で開催予定です。



	優勝	準優勝	第三位	
小2以下 21名	塙 大河 (名古屋市立高見小2)	鈴木 蒼大 (みよし市立三好丘小2)	伊藤 千智 (弥富市立弥生小1)	高田 亜矢子 (あま市立美和東2)
小3・4 28名	清水 太陽 (みよし市立三好丘小4)	飯田 啓吾 (蟹江町立蟹江小3)	市村 嘉規 (名古屋市立東桜小4)	小原 晃生 (名古屋市立滝川小4)
小5・6 29名	宮間 遥都 (伊勢市立厚生小5)	神野 来樹 (関市立南ヶ丘5)	杉本 京介 (名古屋市立筒井小5)	堀 隼輔 (長久手市立北小5)

4 さなる杯第46回小学生将棋名人戦愛知県代表は安本興生さん

1月17日(日)、㈱さなる名古屋本社にて、さなる杯第46回小学生将棋名人戦愛知県大会を開催し、70名の参加がありました。

㈱さなる様には、このような状況にもかかわらず、開催のためにご尽力くださいましたこと、感謝しております。

例年は県内数ヶ所で地区大会を開催していますが、本年は県大会のみとし、交流大会も見合わせることにしました。

保護者の皆様にも、会場の密を避けるために別室にお移りいただくなど、ご協力を賜りました。

大会が終了した参加者は、井上慶太九段と畠山鎮八段に懇切丁寧な指導を受けて、存分に楽しんだことと思います。

大会の結果は下表のとおりです。安本興生さんが優勝し、3月20日・21日に開催される東日本大会の出場権を手に入れました。



優勝	準優勝	第三位	第四位
安本 興生 (弥富小4)	有働 英永 (星ヶ丘小5)	小原 晃生 (滝川小4)	市村 嘉規 (東桜小4)

【東海普及連合会及び愛知県支部連合会の日程】

- 2月13日(土) 将棋指導者講習会 愛旅連ビル
- 2月21日(日) 名古屋城こども王位戦決勝大会 名古屋城本丸御殿
- 2月23日(火・祝) 第17回愛知県支部連合会初・二・三位獲得将棋大会 愛旅連ビル
- 2月26日(金) 第79期A級順位戦最終局解説会 中止
- 3月7日(日) 第50回全国支部将棋対抗戦代替大会北陸・東海ブロック愛知県大会
第50回全国支部将棋名人戦愛知県大会 名古屋港湾会館

会報の配信をご希望の方は東海普及連合会事務所までご連絡ください。

東海普及連合会のサイト (<http://shogitokai.sakura.ne.jp/>) からダウンロードしていただくこともできます。

東海普及連合会、愛知県支部連合会へのご意見がございましたら遠慮なくご連絡ください。

東海普及連合会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目12番21号第2栄スカイタウン4A

電話 052-253-9441 FAX 052-253-9442 E-mail shogi_tokai@ybb.ne.jp